

平成21年度 第2回花見川区公民館運営審議会議事録

第1 日 時 平成22年2月24日(水) 午後3時00分～午後4時30分

第2 場 所 幕張公民館 講習室

第3 出席者 (委員)(定足数8名>7.5名=15名/2)

出 席・・・14名

竹内委員、加瀬委員、野田委員、大山委員、堺委員、福島委員、新田委員、
青木委員、玉山委員、平戸委員、宮崎委員、田中委員、林委員、藤江委員

欠 席・・・1名

菊池委員

〈事務局〉

石井館長、松尾副館長(幕張)、海保館長(花園)、三浦館長(犢橋)、小川館長
(検見川)、小原館長(花見川)、小泉館長(さつきが丘)、山口館長(こてはし台)、
根本館長(長作)、小山館長(朝日ヶ丘)、今関館長(幕張本郷)、永田主任主事
(幕張)

第4 審議会の概要

1 議事録署名人の選出

(1) 平戸委員、宮崎委員が議事録署名人に指名された。

2 区内公民館事業及び区事業の平成21年度事業報告及び平成22年度事業計画について

(1) 石井館長及び各館長より、各公民館の主催事業の平成21年度事業報告と、平成22年度事業計画を併せて説明した。

(2) 石井館長より花見川区事業の平成21年度事業報告と平成22年度事業計画について併せて説明した。

3 その他 「第61回千葉県公民館研究大会」(於：さわやかちば県民プラザ[柏市]平成21年11月18日実施)の報告について

(1) 出席委員より報告、感想があった。

第5 審議会前・事務経過

1 配布資料確認

2 議事進行についての説明

3 傍聴人の入室・・・なし

第6 審議会・会議経過

- 1 開会のことば（進行 石井館長）
- 2 委員長あいさつ（福島委員長）
- 3 規定により、議長は委員長、副議長は副委員長が務めることになっており、それぞれの席に着く。
- 4 議事録署名人として、平戸委員、宮崎委員を選出した。
- 5 議題（審議事項）

(1) 報告事項 議案第1号 平成21年度事業報告について（奇数ページ）

(2) 承認事項 平成22年度事業計画について（偶数ページ）一括して、資料1～21ページに基づき、提案・説明した。

石井館長と各館長 各公民館の平成21年度事業報告並びに平成22年度事業計画を説明した。

石井館長 区事業の平成21年度事業報告、並びに平成22年度事業計画を説明した。

議長 報告事項について意見を求める。

—意見・質問等なし—

議長 無いようなので、この件については今年度の事業が終わって、次年度第1回の運営審議会で改めて報告いただき、審議していただくこととする。次に平成22年度事業計画についてご意見を出してください。

委員 学校週5日制が始まって15年くらいになるが、よその地域では週5日制を廃して土曜日にも学校で授業をとる動きがあるようだが、完全学校週5日制対応事業の資料を見ると比較的集まっている館からそうでもない館があるなど地域によって様々である。中学生がふらっと公民館に来てくれるのが望ましいが、公民館側が企画しないと入って来られないのか。また、完全学校週5日制対応事業はそのまま続けていくのか。

事務局 中学生対象とした事業も実施しているが、応募者は少ない。小学校低学年・中学年は比較的多く、高学年になるほど内容にもよるが、応募が少なくなる。

こちら側が企画しないと公民館に入りにくいことがある。それを意図的に講座を組むことにより、来てもらい、楽しかったという思い出を作り、愛着をもっていただく、公民館はそういう場を提供することが必要であると考えている。また、土・日だけでなく、放課後にも事業を実施することも検討している。

議	長	地域住民と近い公民館でさえ、そういう状況であるということでは何か他に考えているところはないか。
事	務	局
		学校週5日制が始まった当初は「子どもの居場所づくり」ということで始め、学校でも図書室の開放等行っていた。確かに年数が経過して「学校週5日制」を冠する必要はないのではという議論はある。朝日ヶ丘公民館の事業説明にもあったように、青少年育成委員会や学校行事とタイアップして事業を行うなど別に場所は公民館でなくてもこちらがでて行って公民館のことを知ってもらうことも必要であると考えている。中学生はクラブ活動等で忙しい。また、最近3歳児から幼稚園等通わせる親が多いため、2歳児対象の講座を実施している。
委	員	区事業のなかで昨年度まであった「ブロック事業」をなくした理由はなにか。
事	務	局
		前回の運営審議会でも説明申し上げたが、予算の有効利用の中で「ブロック事業」も一応の役目を終え、各館事業充実のために振り分けた。
委	員	先ほどの説明では各館とも講師謝礼を無料でやる事業を実施したりしているが、そういったのを3～4館合同でやるのは難しいのか。
事	務	局
		賛否両論あろうかと思う。ただ、一つの館に事務等が偏ってしまったことがあったようだ。3～4館合同でやることによって企画・立案を相互に学ぶメリットはあったが、それを何年も続けてきたので、昨年度で終えて、各館事業に振り分けたということ

だ。

委員 これをやることによって、館長同士や地域が交流するというのがあると思う。館長同士で内発的にできないか。私自身も大学で講師をしていて、大学ではメディア媒体を使った授業だけでなく、実際に登校して、直に講師の話を聴き、他の受講生たちと交流するというのがある。千葉だけでなく、あちこちに学習センターがあり、そういうところの受講生たちとも交流しようという動きがある。公民館の研修についても公民館同士が交流することによって住民同士が交流し、そういうことで輪が広がっていき、話題として今後積極的に取り上げられれば嬉しい。

事務局 区内館長会議は原則として毎月1回、区の主事部会も2か月に1回集まってその中で研修や情報交換をしている。例えば朝日ヶ丘公民館ではさつきが丘公民館の手品のサークルを呼んで地域住民の前で披露するとか、そういった事業は少しずつではあるが実施している。

議長 時間の関係もあるので、平成22年度事業について承認ということでよろしいか。承認であれば拍手をお願いしたい。

— 拍手を持って承認の意思を表明 —

議長 承認とする。各公民館に置かれては、遅滞無く公民館事業に取り組むようお願いする。

(3) その他

議長 平成21年11月18日実施された「第61回千葉県公民館研究大会」について出席された各委員より報告を求める。

—出席した委員より報告、出席しての感想を述べた—
他に何かあるか。

石井館長 現在進められている運営審議会委員の公募について、今後の予定等を説明。

議長 質問をもとめたが特になく、審議会の終了を宣言。

第7 閉会のことば（石井館長）

長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。貴重なご意見をこれからの公民館運営に参考とさせていただきます。

閉会 16時30分

問い合わせ先 千葉市教育委員会生涯学習部幕張公民館
電話 043-273-7522